

【 臨床研究に関する情報の公開 】

頸動脈狭窄症で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

| 項 目 | 内 容 |
|--------------------|--|
| 1. 研究課題名 | 糖尿病合併の頸部内頸動脈狭窄症患者における症候化に関わる因子の検討 |
| 2. 研究の対象者 | 2013年から2023年に当院脳神経外科外来を通院した頸部内頸動脈狭窄症患者 |
| 3. 研究期間 | 令和5年5月22日 ～ 令和5年10月27日 |
| 4. 研究実施体制と研究責任者 | 研究実施箇所：関西電力病院 脳神経外科 研究責任医師：三宅諒汰 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし |
| 5. 本研究の意義・目的 | 糖尿病が頸部内頸動脈狭窄症の一因であることが知られており、糖尿病の患者数が増加するとともに頸動脈狭窄症の患者数も増加傾向にあります。頸動脈狭窄症では、脳梗塞や一過性脳虚血発作を引き起こすリスクがあります。過去の報告では、MRIにおけるプラーク性状によって症候化のリスクを評価できることが示唆されています。今回の研究では、糖尿病を合併した頸動脈狭窄症の患者を対象として、症候化を来しやすい因子を同定することを目的とします。 |
| 6. 研究の方法 | 2013年から2023年に当院脳神経外科を通過した糖尿病を合併した頸動脈狭窄症の患者を対象として、頸動脈エコーやMRI結果、糖尿病関連項目（ヘモグロビンA1c、インスリン使用など）、併存症（高血圧症、脂質異常症など）を評価項目として比較し、症候化との関連を検討します。 |
| 7. 研究に用いる試料・情報の種類 | 年齢、性別、臨床検査データ（コレステロール、ヘモグロビンA1c）、画像診断データ（頸動脈MRI、頸動脈エコー）、既往歴（高血圧、脂質異常症）、飲酒喫煙歴、治療経過 |
| 8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法 | 情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。 |
| 9. 個人情報の保護について | 情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。 |
| 10. 情報管理責任者 | 関西電力病院 脳神経外科 高崎盛生 |
| 11. 問い合わせ・苦情等の窓口 | 〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 脳神経外科 高崎盛生 電話：06-6458-5821（代表） |